

DNSSECがやってくる 権威DNSサーバへの導入

(株) NTTPCコミュニケーションズ

高田美紀

takata@nttpc.co.jp

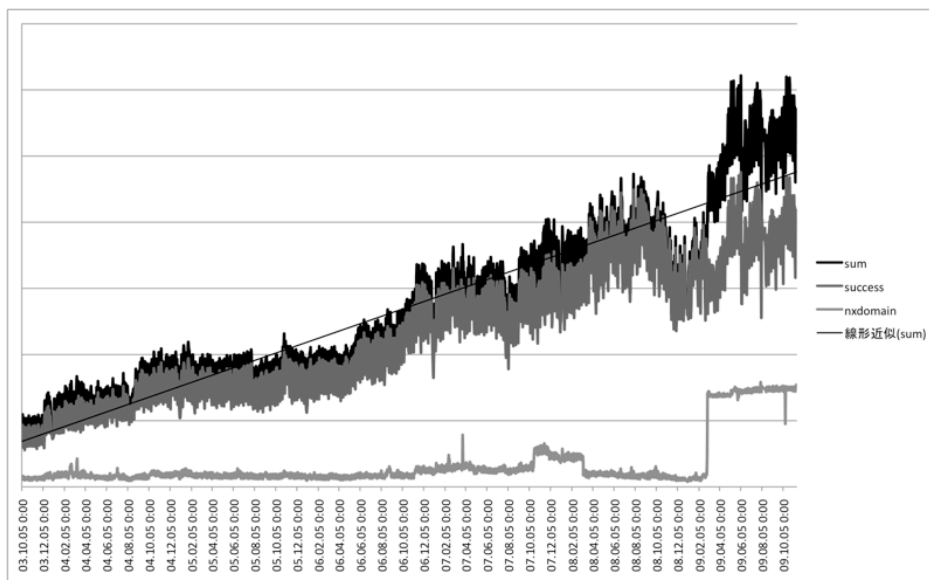
サーバ対応

- BIND
 - 9.4.3-P2, 9.5.1-P2, 9.6.1, or later
 - options { dnssec-enable yes; };
- 時刻同期
 - ntp等で適切に。

リソース

- 65,000zone, 268MB
- 全部にsignすると。
 - 2GB
 - sign時間
 - bindの起動時間
 - その他

query数の増加



パケットサイズ

- 1queryあたりのパケットサイズ比較
 - before: $82+191=273$ bytes
 - after: $82+867(\text{DNSKEY})+82+972(\text{RR})=2,003$ bytes
 - 7.3倍。DNSKEY抜きでも3.9倍
- 段階的な導入

署名、鍵の登録フロー

- コンパネツール
 - https
 - 鍵生成ボタン、KSK表示
- レジストリへKSKを登録
- コンパネにてdlvレコード登録(DLV)

検証失敗

- 検証に失敗した場合
- SERVFAILが返る
 - RRがきちんと設定されていても
- キャッシュには古い鍵があるが、権威サーバ側には新しい鍵しかない場合等
- キャッシュ/権威サーバの切り分け
 - DNSSECによるものなのかどうか？

鍵の更新フロー(1)

- ZSK/KSK支配下のRRSIG TTL切れ前に新しい鍵ペアを作成、その鍵で署名
- 古い鍵が必要なくなった時点で削除
- ZSKはゾーン内で閉じているので他への影響はない
 - 2つ鍵を作り、片方で署名、両方を公開
 - 好きな時に新しい鍵で署名
 - 古い方のTTLを過ぎたらゾーンから削除

鍵の更新フロー(2)

- KSKの更新には親への届けが必要
 - 2つのDSなりDLVが親にある状態
- 更新時の注意点
 - セカンダリの確認
 - 鍵長と更新時期の設定
 - 更新の自動化は難しい?

そこまでやっても。。

- エンドユーザにDNSSEC検証が成功したことを知らせる術がない
- FireFoxのAdd-Onで検証結果を見せてくれるものがある
 - <http://labs.nic.cz/page/691/dnssec-add-on-for-firefox/>
 - httpsの鍵マークとの違い
- ほかにはメールヘッダくらい?

まとめ

- レジストリへのDLVやDSの登録インターフェースはまちまち
- 鍵の更新、移転に混乱を生じる懸念
- DNSSEC単体では売れないだろうけど、証明書屋さんと組むといいかも(?)